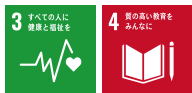


要請番号 (JL61825B06)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マダガスカル	G182 小学校教育	20～45歳のみ	個別	交替2代目	2年	・2026/3 ・2027/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

国民教育省

2) 配属機関名 (日本語)

ファラチウ郡学区事務所

3) 任地 (ヴァキナンカラチャ県ファラチウ郡ファラチウ市) JICA事務所の所在地 (アンタナナリボ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 5.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、国民教育省の出先機関であり、ヴァキナンカラチャ県教育事務所(DREN)のもと、郡内の教育行政を統括する学区事務所(CISCO)である。総務、プログラム担当、基礎教育、幼児教育、ノンフォーマル教育課等の部署があり、郡内の小学校171校、中学校18校、高校9校と私立校を管轄している。同県は、JICA技術協力プロジェクト「みんなの学校:住民参加による教育開発プロジェクト」の対象地域となっており、2代目のJICA海外協力隊の派遣となる。同任地にはコミュニティ開発隊員が2025年9月から活動開始予定である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

国民教育省は教育分野の開発計画(PSE 2018-2022)に沿って、アクセスの向上、教育の質の改善、ガバナンス強化を柱に政策を進めたが、初等教育の純就学率は約9割あるものの都市部と農村部の格差が大きく、修了率は約6割とまだ課題が多い。また、教育の質に関し、設備や教科書の不足も顕著であるが、コミュニティが雇用する教員養成課程を経ていない無資格のコミュニティ教員(FRAM教員)が6割以上を占めており、教員の質の改善も課題の一つである。これらの課題に対し、教育現場で現地の教員と協働しつつ、教員の質の向上に貢献できる小学校教育隊員の要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

現地の小学校等を公共交通機関や自転車を使って巡回し、自身の得意なものを活かしながら、以下に挙げるような活動を行う。

1. 現地教員と協力して算数、図工、理科、体育等の教科の指導支援を実施する(配属先からは算数の要望有。高学年でも足し算を指や定規の目盛りを使って数えるような状況)。
2. 児童の学習を効果的に進めるためのアイデアやアクティビティ、補助教材開発の支援を行う。
3. 上記活動を通じて事例を共有するための授業研究やワークショップの実施支援を行う。
4. 状況に応じて、手洗いなどの保健衛生等のアクティビティも可能。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

隊員や技術協力プロジェクトで作成された手洗い、栄養啓発教材、紙芝居等。授業実施に関しては基本的に任地にあるものを工夫して使用する。

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

学区事務所長(40代男性)、指導主事(40代男性)、プログラム担当、各課の職員、秘書等の常勤職員(10-15名程度)

活動対象者:対象となる各学校長、教員、児童(1クラス
20～50人超)

5) 活動使用言語

マダガスカル語

6) 生活使用言語

マダガスカル語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]: (教諭免許(校種・教科不問))

[学歴]: () 備考:

[性別]: () 備考:

[経験]: (指導経験) 2年以上 備考: 教員に助言するため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (温暖冬季少雨気候) 気温: (1～30℃位) [電気]: (不安定)

[通信]: (インターネット可 電話可) [水源]: (不安定)

【特記事項】

- ・派遣前語学訓練では公文書等で使用されるフランス語、現地語学訓練ではマダガスカル語を学習する(共に公用語)。

【類似職種】

- ・青少年活動

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。